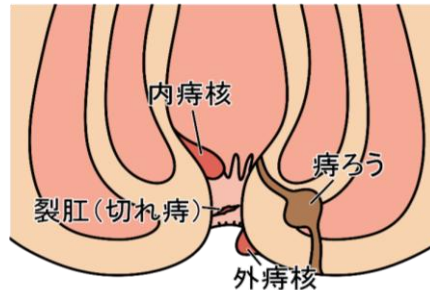


肛門疾患は人類が立位歩行を始めた事から必然的に起こってきた現象です。
症状の有無に関わらず、約2/3の人々に痔はあると言われてています。

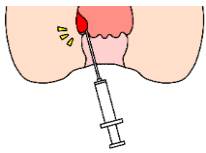


肛門科/長江 康

診察には最大限の配慮を致しますので、
肛門周囲の症状については何でも
ご相談下さい。



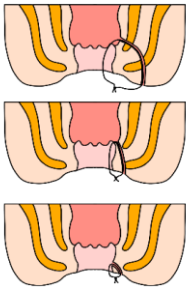
ジオン注射



👉 **内痔核** に対しては **ジオン注射** (痔核の硬化療法)、切除術、または双方の組み合わせ

ジオン注射を使った痔の治療は、麻酔をしてから痔核内に注射で硬化剤を投与することによって痔核を硬化し、脱出や出血などの症状を改善します。メスを使って切除することはなく、注射だけで痔の治療が完了します。手術にくらべて身体的・精神的負担が軽いと言えます。麻酔も含め、治療の所要時間は約30分です。

シートン法



👉 **痔瘻** (いわゆる『あな痔』) に対しては **切除手術**、**シートン法手術**

シートン法とは、輪ゴムを瘻管に通して、瘻管を徐々に閉鎖していく手術です。ゴムを交換するために2~4週間ごとに通院が必要です。瘻管の状態によって治療期間は変わりますが、平均して数ヶ月かかります。しかし便失禁などの後遺症が少なく済む治療法です。

👉 **外痔核・裂肛(切れ痔)** に対しては疼痛コントロールができれば、薬物療法と生活習慣の改善で手術せずに軽快する事が多いです。

治療方法は痔の種類や症状によって変わりますので、まずは当院肛門科を受診して下さい。

気になる ✂️ 手術時の麻酔について

局所麻酔、腰椎麻酔(下半身麻酔)、仙骨硬膜外麻酔などがあります。

当院では主に、**仙骨硬膜外麻酔**を行っています。

仙骨というお尻の割れ目上方にある骨の仙骨裂孔という穴から注射を行う方法で、肛門中心に麻酔がかかります。この方法の利点は、手術後の安静時間が短く麻酔が切れればすぐに歩行可能な点、腰椎麻酔と異なり尿道にカテーテルを入れる必要が無くご相談により日帰り手術も可能な点です。

もっと気になる ⚡ 術後の痛みについて

術後の疼痛予防に対しても配慮しています。もちろん無痛という訳にはいきませんが、極力疼痛が軽減されるように工夫しています。

ご不安な点はご相談下さい。



ちの悩み、ひとりで悩まず寿康会

埼玉県川口市西青木2-15-10

医療法人寿康会 **寿康会病院**

☎ **048 - 251 - 2050**